第１学年　　道徳科学習指導案

１　主題名　　だれに　たいしても　　C－１１［公正、公平、社会正義］

　　教材名　　ジャングルジム　出典：道徳１　きみがいちばんひかるとき（光村図書）

２　主題について

1. ねらい

　人間は、自分と異なる感じ方や考え方、多数ではない立場や意見に対して、偏った見方をしたり、自分より弱い存在があることで優越感を抱きたいがために公平でない接し方をしたりしてしまう弱さをもっていると言われる。集団生活の中では、自分の好き嫌いや損得で態度を変えるのでなく、公平で公正な判断に基づいた行動へ結び付けていけるようになることが大切である。

　自分の好き嫌いで行動してしまうと、仲間はずれや一人ぼっちになる人が出てしまう。そうなると、その人にだけでなく、自分も周りの人も嫌な気持ちになってしまう。自分の好き嫌いにとらわれずに接することはとても大事なことである。それは、道徳の学習だけでなく、普段の生活経験の積み重ねによって身に付いていく部分も大きいと考えられる。相手の立場になって考えることのよさに気付かせ、まわりの人に公正、公平にしようとする態度を育みたい。

1. 児童の実態

本学級の児童は、同じ保育園から入学してきている子が大半で、気心が知れている子が多い。学級全体の雰囲気も温かい。入学してしばらくの間は、違う保育園や子ども園から入学してきた子どもと、できるだけたくさん交流させたいと思い、国語や音楽、特別活動の時間にペアやグループで相談したり、協力したりしながら活動する場の設定づくりを行った。おかげで、一人、二人で入学してきた子どもたちもすんなりと溶け込むことができた。

ここでは、公正、公平な態度に根ざした具体的な場面を取り上げ、その言動のよさを考えさせるようにするとともに、偏見や差別のある言動について毅然と正していきたい。誰に対しても、公平、公正に接するよさを実感できるようにしたい。

1. 指導について

　本教材は、さるくんと遊んでいたくまくんが、仲間に入ろうとやって来たねこちゃんに、「違うところで遊んでよ。」と言って、仲間外れにしてしまう様子を描いている。ねこちゃんに冷たい態度をとるくまくんと、泣いてしまったねこちゃんをなだめようとするさるくん。次の日、相手の立場になって考えた３匹は、互いに謝り、仲良く遊ぶという結末になっている。

まずは、自分の好き嫌いにとらわれない具体的な言動を取り上げて、そのよさを考えさせる。どうして、仲直りができたか、翌日の３匹の登場人物の言動を想像させる。場面に合った吹き出しの言葉をワークシートの吹き出しに書き込ませ、役割演技を取り入れる。次に、３匹が仲良く遊ぶ場面につながる前場面の役割演技を通して、登場人物の気持ちを追体験させ、仲直りできて嬉しい気持ちを感じさせたり、誰にでも同じように接することのよさを考えさせたりする。この授業が、子どもたちのよりよい友達関係を築くための一翼になることを期待している。

３　本時の指導

（１）ねらい　ねこちゃんを仲間外れにしようとするくまくんや、仲間外れににされて悲しむねこち

ゃんの姿を通して、誰とでも仲良くすることについて考えさせ、自分の好き嫌いにと

らわれず、まわりの人に接しようとする心情を育てる。

（２）準　備　【教師】場面絵①～⑥、３匹のお面、ワークシート

　　　　　　　【児童】教科書

（３）展　開

|  |  |
| --- | --- |
| 学　習　活　動 | ◆支援　　◎評価 |
| １　友達と遊んでいる時の自分を想起し、発表する。  【全】  ・いろんな人と遊んでいる。  ・いつも仲良く遊んでいる。  ・この前、けんかをしちゃった。  ・途中で、勝手に遊ぶのを止められた。  めあて　　だれとでも仲良くすることについて、考えましょう  ２　場面絵①～④の範読を聞き、ねこちゃんの気持ちを  　考える。　　　　　　　　　　　　　　　　　【全】  　・何度も「違うところで遊んでよ。」と言われて、悲  しい。  　・一緒に遊びたいのに、どうしてだめなんだろう。  　・くまくんに嫌われているのかな。  　・意地悪なくまくんなんて大嫌いだ。  　・さるくんが味方をしてくれて、ちょっと嬉しい。  ３　場面絵⑤で３匹がどんな話をしたかを話し合い、役割演技をしたり、見たりする。　　　　【ペア→全】  くまくん  C:\Users\yamadayuko\Desktop\R4 道徳　指導案\ジャングルジム（公正、公平、社会正義）\お面の絵\ねこちゃん.jpg・ねこちゃん、昨日は仲間に入れてあげなくてごめん  ね。  ・もう、仲間外れにしないからね。  ねこちゃん  ・くまくん、もういいよ。次からは仲間に入れてね。  C:\Users\yamadayuko\Desktop\R4 道徳　指導案\ジャングルジム（公正、公平、社会正義）\お面の絵\くまくん.jpg・もしかして、私、何か嫌なことをしたかな。  さるくん　（教師の演技）  ・くまくん、昨日は強い言い方をしてごめんね。  ・みんなで遊んだ方が、きっと楽しいよ。  演じたり、演じているのを見たりして、思ったことを話し合いましょうからでしょう  ４　役割演技をしたり、見たりした感想を伝え合い、振  り返りをする。　　　　　　　　　　　　　　【全】  　・誰かを仲間外れにするより、みんなと仲良くする方  が楽しい。  ・きっと、くまくんは、みんなで遊んで、楽しかった  と思う。  ・仲直りしている時は、みんな笑顔だった。  ・ねこちゃんの役をしていて、くまくんが謝ってくれ  た時は嬉しかった。  　・くまくんとねこちゃんが仲直りできたから、さるく  んも安心しているみたい。  　・これからは、私もみんなと仲良く遊びたい。 | ◆教材の内容につなげるために、友達と  楽しく遊んだことや、トラブルになっ  たことを思い浮かべる時間を設ける。  ◆安心して発表できるように、言えることだけでよいことを伝える。  ◆わがままな行動の理不尽さや、公平な態度のよさに気付くことができるように、ねこちゃんに対するくまくんとさるくんの言動の違いをきちんと押さえる。  どんなお話をして、仲直りをしたのでしょう  ◆仲直りするためにどんな言葉をかけた  らよいかをわかりやすくするために、  ①～④の場面絵と⑥の場面絵を比較し  て提示する。  ◆話す言葉を考えやすくするために、く  まくん、ねこちゃんの順に声をかける  ことを伝える。  ◆仲直りができて嬉しい気持ちを体感したり、誰にでも公平に接することのよさを意識したりすることができるように、役割演技を取り入れる。  ◆多様な考えを引き出すために、演技を  した児童と演技を見ていた児童の感想  交流を図る。  ◎誰とでも仲良くすることについて考  え、自分の好き嫌いにとらわれず、  まわりの人に接しようとする気持ち  を高めることができたか。  （ワークシート、発表の様子） |